

H様のスーツは私達が仕立てました。

### <1> 大阪店 花市より

この度は、『レディース燕尾服』のフルオーダーをご注文頂きまして誠にありがとうございました。

今回のご注文は、純粋なフォーマルである燕尾服をレディース仕立てでお仕立するという非常に難易度の高いご注文でしたが、度重なる仮縫いにご協力頂きました結果、ようやくH様にお納めできる商品が仕上がりました。以下、仮縫い段階、縫製段階のご報告を申し上げます。ご一読いただければ幸いです。



### <2> 工場長 吉井より

この度のご注文では仮縫いに3度もお立ち寄り頂き有難うございました。その後お納めした燕尾服の方はご愛用頂けておりますでしょうか？ H様のお仕立に当たりましては次の点に注意しお仕立いたしました。今後のためご参照いただければ幸いです。

1. **素材的な特徴**: ご注文の生地はイタリアを代表するメーカーの一つロロピアーナ製です。当初ご相談段階では女性的な燕尾服を避け、男性的な物を、、、、ということ別々の生地を店舗側がお薦めしたようですが、この生地でしたらメンズの質感重量感を持ちつつ、女性的な柔らかさもありますので今回のご注文には最適な素材だったと思います。

#### 2. 季節的な問題:

湿度の高い時期は、表地と縫い糸の湿度による膨張率に差が出るためピリングに注意いたします。特に、打ち込み(生地の織り密度)の甘い素材は湿度変化に弱く、湿度変化でステッチ等がキツク出ることが起こり得ますので、この点を注意しながらお仕立いたしました。

3. **ご体型的な特徴**: 仮縫い時にH様の体型的なを把握し次のように対処いたしました。

#### 強いツキジワが出る体型

H様はご本人もお気づきの通りツキジワと言って**背中にシワが出来やすいご体型的な特徴**があります。

これはH様の肩が怒り肩であることや、肩胛骨が通常より張っていることが原因で、まずはこれを調整する必要がありました。これに対しては仮縫い時に肩を一旦外してから付け直すことで調整しました。



また肩に関連する所で申し上げますと左右の肩のバランス差は燕尾服のような着丈の長い上着では背中心線の裾で差が現れ、ご覧の通りH様の場合は左に流れてしまっておりました。

#### バストトップとウエストの差寸が大きい体型

また女性ならではの**特徴**といえば、バストからウエストにかけてのラインです。

女性は、男性と比べバストトップとウエストの差寸が大きく急激で、これをご身長が男性より低い分、狭い(短い)中で調整しなくては行けないため、ダーツ処理の難易度が非常に高く苦しみました。



特にベストでは、素材がピケとロロピアーナと比べると堅い素材を使うためバストに沿うようなシルエットが出来ず、襟が身体に密着せず浮いてしまい、加えて襟が曲がってしまうような仮縫い上がりになっており、更には、バストの高さからベストの前の丈が不足してしまい、紙で丈を足してイメージするという離れ技(?)まで披露してしまいました。

右画像：青で囲ったところが襟が浮き、曲がったところ。

このままではお仕立に入れません。

下画像左：1月の仮縫い時、紙を張り着丈を伸ばしイメージを、、、かなりレアな対応です。

下画像右：梅田での仮縫い時、胸は落ちていたがウエスト周りが広く脇で調整。

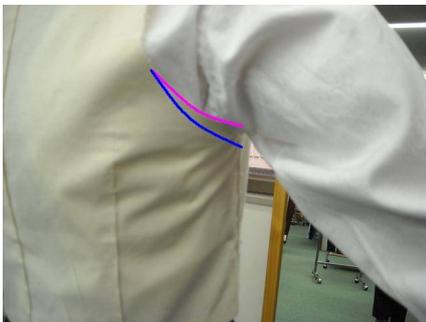


### 袖付け >>> 細めの二の腕

初回仮縫いでは男性のオーダーに慣れた私共の考えが至らず、アームホールが大きく出来上がってしまったため、アームホールを浅く(小さく)し、て袖巾を細くする補正を加えました。

ところが再仮縫い時(吉井)には今度は逆にアームホールを小さくし過ぎ脇が当たる状態になっておりました。女性と男性の違いを痛感させられた出来事でした。

左画像：吉井仮縫い時の画像。ピンク線では脇が当たる。青線に修正



その後の三谷の仮縫い時にはほぼ正常な状態となり、動作性も見た目の美しさも十分満足いく仕上がりになっておりました。

### パンツのシルエット >>> ハイウエスト

燕尾服では通常、丈の短いジャケットとこれより少し丈の長いベストをお召しになります。このため、普通の股上ですとウエストの帯部分やボタンが見えることになるため違和感があり、これを補うため、股上は通常より深くし、サスペンダー対応の帯なしのハイウエストタイプにしました。こちらウエストとヒップの差寸が大きいので、タックをたっぷりとりご体型に合わせてシルエットが出るように調整しました。

また、H様はウエストとヒップの差が大きいので、ダーツ部にて絞り込みを強く入れ、一方ではヒップの肉が少ない平尻体型でしたので、仮縫い時には太股部分にゆとりが出過ぎ、これが見栄えを悪くしておりましたので、仮縫い時(吉井)に渡り幅の無駄を削りました。

これにより、仕上がりの立ち姿がスッキリ見えていると思います。



### 燕尾部分

通常の燕尾服の場合、燕尾部分は総丈(首下～踵までの距離)の3分の2程度ですが、今回は女性の燕尾服ですので数値よりも綺麗に見える丈とラインを重視しました。先述の通り、着丈が長い場合、肩バランスからの影響が裾に行けば行くほど強く出たため後ろ正面から見た時、背中心線が真っ直ぐ落ち、脇から見た時、燕尾が跳ねたりしないよう特に注意して仮縫いいたしました。



流れるような燕尾ラインが燕尾服の一番のポイントであり見せ所ですから、真後ろからだけでなく横から見た場合、綺麗なシルエットになるようにしました。カーブは手作業でのライン引きになりますので、重くなりすぎず、短くなりすぎる事の無いよう配慮しました。

また、H様はバストとウエストとの落差が大きいので、バスト下が浮かない工夫と女性らし過ぎない様に、ウエストの絞りがあまり強調されないようなラインにいたしました。

画像は新店舗での仮縫い時の画像です。  
この時点でもかなり綺麗な状態になっていました。

### 襟作り

今回の襟作りはシルク地サテンでの 挿絹作りですので、時間を掛けて作業します。H様は艶めかしい女性らし過ぎるラインではなく、メンズライクな仕上がりをご要望と伺っておりましたので、襟のラインもR(曲線)を強めず、比較的シャープなラインの襟にしました。



### <3>各作業スタッフのご紹介

今回のご注文は婦人用の燕尾服ということで、工場スタッフも今までにない緊張感を持ってお仕立いたしました。総勢13名のスタッフがお仕立に関わりましたので主要な面々をご紹介します。

#### 2-1. パターン作成 (担当:中島)

パターン作りは今回のご注文では一番重要なポイントでした。バストからウエストまでのライン、女性ならではのアームホールの狭さetc 苦勞話を挙げればきりがありませんが、東京店三谷女史の意見を採り入れつつパターンを引きました。が、その後数度の仮縫いが必要になるほどやはり難しく、H様には何度もご足労をお掛けし、申し訳ありませんでした。



非常に苦勞しましたが、仕上がりに付きましては最終フィッティング画像を拝見し良い仕上がりと自負しております。いかがでしょうか。

#### 2-2. 裁断、裁ち合わせ(担当:濱野)

正式な型紙が仕上がった後、これを生地当て裁断します。裁断においては、パターンが完成している為に、全く問題なく作業終了しました。



#### 2-3. 仮縫い着付け(第一回12/13)(担当:石田)

第1回目の仮縫いフィッティング。仮縫いを2度入れることが前提のご注文でしたから、目立つポイントのみ補正を加えました。

#### 2-4. 仮縫い着付け(第二回 1/9)(担当:吉井)

当初は、再仮縫いの為に、わずかの修正で済むと思っておりましたがこれは大きな間違いでした。

##### a. パンツ

。。。パンツは比較的問題なく仕上がっておりました。ただ、先述ご案内の通り、平尻体型の為に後見頃が下がり斜めシワが出ていましたから、この点は見た目の美しさのため渡り幅を詰める補正を加えました。

##### b. ベスト

。。。ベストが一番難易度が高く苦勞しました。

先ず、肩に大きなツキジワが出ており肩廻りよりピン打ちを始めました。続いて、胸回り、前後のバランス、ウエスト廻りをチェック、バスト廻りが不足気味でしたので、脇で出しました。



ウエスト廻りは身体より少し離れるくらいゆとりがあり、背も跳ねていた為にダーツ量を深く取るようにして、背で振り込むようにしました。

又、ラベルがバストトップの所で折れてしまう状態がなかなか直らず、メンズで行う補正(ゴージカット:襟裏に切り込みを入れ胸に立体感を出す手法)を使い、調整しました。



### c. 上衣

。。。着用してもらおうと、肩廻りが全く合わない状態でした。怒り肩でありつつ、なおかつ背中(肩胛骨部分)が丸いためツキジワが強く出ていました。このため一度肩線を解きピン留めをし直し、再調整しました。

一方で、着丈については、レディースはメンズと違って胸が厚い為にバストラインより上方は、極端に長くなくては収まらないのに、その寸法が不足していたため、その分を調整しました。

最終的には、最大限の努力はいたしましたが、恥ずかしながら、ベストにおけるバストの収まりなど、どうしても納得出来ない部分が残ったため再仮縫いから本縫いに入ることを避け、再々仮縫いのお願いをいたしました。

H様にはご不便をお掛けしましたが結果を見ます限り正解だったと思います。



## 2-5. 再々仮縫い (第三回 2/13) (担当:三谷)

再仮縫いの補正を入れたパターンで、仮縫いを作り、東京店三谷より最終パターン補正を行いました。

状況はかなり改善しておりましたが、事前に吉井の懸念した通りやはり数点問題が残っており最終調整いたしました。具体的にはベストの襟回りの収まりは良くなったものの反動でウエストがガバガバになってしまったためこちらは脇から詰める補正を加えております。



## 2-6. 本縫い

a. 上衣(担当:竹下)

b. ベスト、パンツ(担当:堀田)

本縫いに関しては、ノーベル賞受賞者の燕尾を仕立てた当社一番のベテラン技術者に依頼しましたので全く問題なく仕上がりました。

以上、  
簡単ですがH様の燕尾服作りに携わった担当者の紹介方々、ご報告させていただきました。  
なお、H様の型紙はお預かり致しておりますので、ご不明な点などございましたら遠慮なくお申し付け下さい。  
ご注文頂きましたお洋服がH様にとってお気に入りの一着になりますこと、心よりお祈り申し上げます。  
ありがとうございました。



(有)三久服装  
取締役工場長 吉井 久勝  
練馬区石神井町1-8-12  
TEL 03-3995-2944

